

校長の想い 8月

夏 合 宿

神津島の8月は、例大祭で始まります。今年は、高校生神輿も出ますので、同窓会から寄贈された赤い法被を纏った軍団が村中を舞います。どうぞよろしく願いいたします。

さて、夏といって思い出すことはやはり夏合宿が一番です。

夏合宿と言っても私が教員になってから引率した合宿ではなく、私が高校生の時に行った卓球部の合宿のことです。

我々は、長野県の牧の入高原に毎年5泊6日で行って行きました。学校から貸し切りバスに乗り、いくつかの部活の合同合宿でした。

牧の入高原はスキー場ですので、専用の卓球施設などはなくて、山の中腹にある冬はレストランになるところを女子が使い、男子はその隣の小屋に3台の卓球台を並べて練習しました。

暑い上に当時は、疲れるから水を飲むと言われていましたので、休憩になると女子の涼しい方の練習場へ行き（そこにしか水道がなかった）、水道で頭から水をあびて、頭から流れる水を内緒で飲んでいました。

よく事故が起こらなかったと今では思います。

苦しい合宿でしたが、それなりに技術も上達することができたし、精神力を鍛えてもらいました。

最終日、指導にあたってくださったOBの方から、「将来、苦しいことがあった時には今回の合宿のことを思い出して頑張りなさい。」との話がありました。

あの、苦しかった合宿が今では苦しい思い出ではなく、懐かしい思い出です。